

カリタス女子中学校 新3科型入学試験

二〇一八年二月二日 実施

読解・論述問題

(五〇分)

*答えはすべて解答用紙に記入すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。※のついた言葉には、文章の最後に注をつけてあります。

知識を身につけるのは、決して自分のためだけではありません。自分が身につけた知識を、みんなで共有することで、その知識は生きた知識となっていくます。その知識をみんなで共有し、共に利益を得ていくことは、私たちが生きていく上で、欠かすことのできない知恵だからです。

それは、我らホモ・サピエンスが生き残った理由ともつながってきます。

猿から人間に進化してきた七〇〇万年ほどの間で、いろいろな哺乳類が途中で絶滅しています。現在、歴史人類学者がいろいろな仮説を出していますが、その中で有力なのが七万五〇〇〇年前、今のインドシナ半島でものごく大きな火山の爆発があり、その噴煙で地球全体が暗くなった。そのために一挙に寒冷化し、それまで採っていた多くの植物が全滅してしまった。

たために、ほかの動物や、多くのホモ属が絶滅した。唯一、その状況を切り抜けたのが、ホモ・サピエンスだったという説です。

生き残った理由として考えられているのが、彼らは、「そこはダメだ、あっちへ行つたほうがいい」などと、お互いの利益のために、水が出る場所や暖かい住みかを得られるところなどを、教え合つたのではないかということです。そのようなホモ・サピエンスの生息の痕跡が世界のさまざまな場所に拡散しているからです。恐らく、お互いに助け合うことで生命を救い合つたのでしょう。

2、ヒト属は、小さくてか弱いから、大きな動物とケンカをしても勝つことができません。それを殺して食べることができたのは、共同する知恵があったからです。役割を分担し、共同で動物に立ち向かう。耳のいいやつが「あっちにいる！」と発見して仲間伝えると、俊敏なやつが前から攻めて牛を追い込み、腕力の強いやつが捕獲する。そうすれば、大きな獲物でも仕留めることができます。やがて言語が生み出され、それを使ってコミュニケーションをし、共同性を高めていった。そうして、上手に危機を切り抜けることにつながったのです。

共同・協力する力、一緒に困難を乗り越える力というのは、人間が人間として生き延びてきた原動力なのです。これは別の見方をすると、一緒に喜び合える力であり、この力があるからこそ、生きていて楽しいと思えるのです。これがやがては恋愛感情にもつながります。

3、子どものころにやった、鬼ごっこやかくれんぼは、みんなで一緒にするからこそ楽しい遊びです。みんなで知恵を出し合って、新しい自分たちのルールを考えたら、遊びがもっと面白くなります。ときには、年齢の小さい子が交じっていて、「この子はおみそ」など

と言ってその子だけ鬼にならないように配慮して、小さな子たちも一緒に遊べるように工夫したかもしれません。遊びは共同しないと楽しく遊べませんから、そういう力をたくさん学ぶことができます。

皆さんのような年齢になれば、友達同士でキャンプに行こうと、計画を立てることもあるでしょう。少し険しい道のりも、友達と一緒に頑張って歩き通すことができたりするから不思議です。わずかな水や食料しか持たないで、山で道に迷ってしまったとき、それを乗り切るのに大切なのは、まさに共同力です。みんなで一緒に何かに取り組んで、互いに喜び合う。困っている子がいたら、みんなで助ける。そうしているうちに、一緒に危機を乗り越える、共同的な危機管理能力が培われていきます。

この二〇〇〇〜三〇〇〇年で、文字・書物ができ、文化が伝わってきました。

文化は「この魚はこういうふうにごしらえをすれば、毒にあたらずに済む」とか、「こうすれば風が吹いてきても飛ばない」など、長い歴史の中で生み出されてきた人々の知恵やスキルをどれだけの人々とどのように共有するかという努力の中で生み出されたものです。

文化というのは、たった一人でつくられるものではなく、たくさんの中の誰かが優れた芸術作品をつくったとしても、周りの人がそれを高く評価しなければ、残っていきません。4、文化というのは、いろいろなことを編み出す人と、それを評価して

広めていく人との共同作品なのです。

その意味でも、文化の象徴である知識・学問・芸術・スキルを学ぶとき、「僕だけがわかればいい」というのは、正しい文化の伝え方ではないのです。

試験のとき、自分より成績のいいライバルが風邪をひいて休んだら、しめしめと思う、そんなさもしい考え方ではダメです。授業というのは、先生・生徒の一对一の関係で行われるべきものではなく、先生は生徒に向かって、「先生は問いを投げかけるけれど、考えるのはみんなだよ。みんなで共働して考えよう」と言うべきです。

生徒たちがともに学んで、理解していく。よく理解できていない子には誰かが教えてあげて、学びを共同化していく。仲間教えることで、その人自身の知識も整理されて、理解が深まります。それが本来の学びのあり方でしょう。

個人的に本を読んだり、テレビを見たりして情報入手することも大事ですが、それを独り占めするのは自分にとっても、相手にとっても損なのです。自分が持っている知識、入手した知識を周囲に伝え、みんなで共有していくことで人間は文化的になっていきます。

5、それを元に議論し合って、友達からも貧欲※どんぶくに学んでいく。そうやってみんなで助け合い、共に賢かしこくなっていく。わからない人がいたら、放っておかずに、みんな教えてあげるのです。そういう姿勢が人類を救ってきたわけですから。

学ぶことを、個人主義化してはいけません。自分の知識をひけらかして、変に自慢じまんし合うのではなく、共に語り合う、ときにディスカッションすることが大事です。「ねえねえ、知ってる?」「それはちょっと違うんじゃない?」「いや、そんなことはないよ」などと、仲間同士で言い合いながら知識を共有していく。そういうことを大事にしながら、学んでいってほしいと思います。

〈汐見稔幸著『人生を豊かにする学び方』(ちくまプリマー新書)より〉

〔語注〕

※ ホモ・サピエンス ※ ホモ属 ※ ヒト属……ホモ属とヒト属は同じもので、人類の祖先と考えられている。それらのなかで特に発達して現在の人類のもととなったのがホモ・サピエンスである。

※ 噴煙かんえん……火山などからふき出している煙。

※ 生態系……動物や植物とそれらが生きる自然環境かんきょうをあわせたもの。

※ 痕跡こんせき……過去に何かがあったことを示すあと。

※ おみそ……遊びなどで、一人前にみなされない人のこと。

※ スキル……訓練や経験によって身につけた技術や技能。

※ 象徴しょうちゆう……ある考えを表したり連想させたりする形のあるもの。

※ さもしい……心がいやしい、あさましいこと。

※ 共働……おたがいに助け合って活動すること。

※ 貧欲びんぶく……欲がひじょうに深いこと。

※ ディスカッション……話し合い。

設問1

文中の 1 ～ 5 に入れるべき語としてもっともふさわしいものを、それぞれア～ウの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|--------|--------|--------|
| 1 | ア ただし | イ そこで | ウ または |
| 2 | ア また | イ でも | ウ ただ |
| 3 | ア それでも | イ さて | ウ たとえば |
| 4 | ア ですから | イ ところが | ウ もっとも |
| 5 | ア なぜなら | イ あるいは | ウ そのため |

設問2

問題文の前半で、筆者は、人間が知識を共有し互いに共同することによって、どんな良いことが生まれたと考えていますか。五〇字程度
(句読点を含む) で答えなさい。

(段落分けせず、最初のマスから書き始めること)

〔下書き用 必要なのは使って下さい〕

50	30	10
40	20	

〔下書き用 必要なる人は使ってください〕

		290	270	250	230	210	190	170	150	130	110	90	70	50	30	10
		300	280	260	240	220	200	180	160	140	120	100	80	60	40	20